

S-1: 執行部提案セッション

開催日時・会場 9月3日(火曜日) 10:30-12:00 講堂

関係省庁セッション／ 我が国の研究力強化のために目指すべき方向性

国の研究力強化・活性化を議論する場合、アメリカや中国のように圧倒的に資金や人材資源の量的規模が大きい国々ではなく、ドイツやイギリス、あるいはシンガポールのように、伝統的に強い尖った研究領域、優秀な人材の獲得戦略、強み最大化のための研究資金配分システムなどにより、高いパフォーマンスを示している国々を参考にすることが適切ではないか、という考えがある。

また、研究力の評価指標として、論文創出数をベースとすることの限界は以前から指摘されているが、この指標がアカデミアの活動に負の影響を及ぼす懸念も指摘されている。

本セッションでは、まず研究力強化の全体像について理解を深め、その後、大学や研究機関の経営層の方々と交えて、我が国の研究力強化のために目指すべき方向性について議論を行う。

講演／パネリスト

村田 善則: 文部科学省 研究振興局長



1985年文部省入省(文化庁伝統文化課)、2000年高等教育局大学課大学院振興企画官、2002年高等教育局大学課大学企画調整室長、2003年初等中等教育局企画官、2004年文化庁記念物課長、2006年高等教育局学生支援課長、2008年高等教育局私学行政課長、2010年厚生労働省医政局医事課長、2011年高等教育局医学教育課長、2013年科学技術・学術政策局総括官(兼)政策課長、2015年文化庁文化財部長、2016年高等教育局私学部長、2018年文化庁次長を経て、2019年より現職。

モデレーター

**山崎 光悦: 金沢大学 学長
リサーチ・アドミニストレーター(RA)協議会 会長**



1976年金沢大学大学院工学研究科修士課程修了.1976年金沢大学工学部助手.1985年助教授.1994年教授.1989年～1990年文部省在学研究員(カリフォルニア大学サンタバーバラ校).2010年～2012年理工研究域長・理工学域長.2012年理事(研究・国際担当)・副学長.2014年より現職.
専門分野は設計工学,計算力学,材料力学など.

パネリスト

**小谷 元子: 理化学研究所 理事
東北大学 材料科学高等研究所長**



1990年東京都立大学大学院理学研究科理学博士.1990年東邦大学理学部講師.1999年東北大学大学院理学研究科数学専攻助教授.2004年教授.
2005年第25回猿橋賞受賞,2011年第6回ロレアル-ユネスコ女性科学者日本奨励賞特別賞(サイエンス・エンジェル制度)受賞.2012年より東北大学原子分子材料科学高等研究機構(WPI-AIMR) 機構長兼主任研究員,
2017年より理化学研究所 理事. 社会貢献分野では、日本数学会理事長、内閣府総合科学技術会議員、日本学術会議会員・数理科学委員など.

福田 喬: 電気通信大学 学長



1970年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、1970年電気通信大学電気通信学部助手、1990～1991年ドイツ・マックスプランク超高層物理学研究所招聘研究員、1991年助教授、1999年教授、2004～2006年国立大学法人電気通信大学理事・副学長、2006～2008年学長補佐、2008～2010年同学電気通信学部長、2010～2014年同法人理事、2014年より現職、専門分野は超高層物理学。